

講義名称	経済思想史	担当教員名	松田 慎一
科目群	社会科学 (SOC)		
科目区分等	経済 CA7 DI5	単 位	2
対象学年次	2年・春学期	ナンバリング	SOC223

授業のキーワード	経済の歴史、経済学の思想
授業の概要	この授業では、経済学の歴史を講義します。これまでの経済学の歴史を作ってきた偉人達の思想を解説します。ミクロ経済学、マクロ経済学を履修済みであるか、同時に履修をすると理解が深まります。
期待される学習成果 (目標)	1. 経済学の歴史について理解し説明できる。 2. 新しい経済学の基本的な考え方を身に付けることができる。 3. 本科目は、CD学科の定めるディプロマ・ポリシー2.4と関係します。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	イントロダクション	授業概要の説明と、経済思想史とはどのような学問であるか解説します。
2	アダム・スミス (1)	経済学の父と称されるアダム・スミスの思想を解説します。
3	アダム・スミス (2)	第2講の続きです。
4	リカード/マルサス	リカードとマルサスの経済思想を解説します。
5	ワルラス/マーシャル	ミクロ経済学の礎を築いた思想を解説します。
6	マルクス	マルクスの代表作である『資本論』を説明します
7	ケインズ (1)	マクロ経済学の礎を築いたケインズの思想を説明します。
8	ケインズ (2)	第7講の続きです。
9	ゲーム理論 (1)	ゲーム理論におけるナッシュ均衡を解説します。
10	ゲーム理論 (2)	囚人のジレンマを説明します。
11	ゲーム理論 (3)	ナッシュ均衡から日常の社会や経済を考えます。
12	不確実性の経済学	経済学における情報の問題を解説します。
13	行動経済学 (1)	心理学と経済学の関係を説明します。
14	行動経済学 (2)	13講に基づいて、実験を体験します。
15	まとめ	この授業で解説した内容の総括を行います。

定期試験	授業内容に基づいた記述式の筆記試験を行う予定です。
授業時間外学習	1-14回：参考文献を使い進捗の範囲を通読し、要点を整理する。 毎回の授業の予習・復習として、60分程度を目安に、自己の学習を
評価方法	授業貢献度と課題を30%、期末試験を70%として総合点により評価します。 授業内において、出題した課題の返却を予定しています。
使用する教科書 (必ず購入してください)	必要に応じて資料を配布します。
参考文献	ナイアル・キシテイニー他著『経済学大図鑑』三省堂 井上義朗『コアテキスト経済学史』新世社